

富津市健康づくり推進協議会会議録

1 会議の名称	富津市健康づくり推進協議会
2 開催日時	平成25年7月24日(水) 14時30分～15時45分
3 開催場所	富津市役所5階 503会議室
4 審議等事項	(1) 平成24年度事業実績について (2) 平成25年度事業について
5 出席者名	高橋恭市会長、田中治実副会長、渡辺隆二委員、 中川晃一郎委員(代理/君津保健所石井地域保健課長)、 椎津裕貴委員、平野弁一委員、 雨笠正昭委員、深津幸三委員、大野佳志子委員、 渡邊俊昭委員、小柴貞雄委員、木村保史委員、 石井喜美子委員、高橋多賀子委員、 正司健康福祉部長、岩野健康づくり課長、島田国民健康保険課長、 平野健康づくり係長、栗本特定健診推進係長、平野主査、 圓川総括保健師、加藤主任保健師、長谷川副主査
6 公開又は非公開の別	公 開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人 (定員10名)
9 所管課	健康福祉部健康づくり課
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
平野係長	開会 ・会議の公開について ・委員全員出席のため会議成立
高橋副市長	挨拶
平野係長	各委員自己紹介依頼
各委員	委員自己紹介
平野係長	事務局紹介依頼
各事務局職員	各事務局職員自己紹介
平野係長	会長選出 前副市長退任により、現在会長不在のため富津市健康づくり推進協議会設置要綱第5条第3項の規定により会長決定まで副会長の田中委員に議長依頼。
田中議長	会議次第3 会長の選出について事務局の説明を求める。 選出について説明する。
平野係長	富津市健康づくり推進協議会設置要綱第5条第1項の規定により、委員の互選により選出する。
田中議長	互選の方法について投票と指名推薦と意見を求める。
深津委員	指名推薦の提案
田中議長	指名推薦の方法でどうか諮る。
委員	(異議なしの声、多数あり)
田中議長	会長選出は指名推薦に決定。会長の推挙をお願いする。
小柴委員	高橋副市長にお願いしたい。
田中議長	高橋恭市委員の推薦があったがいかがか。
委員	(異議なしの声、多数あり)

田中議長	会長は高橋恭市委員に決定。
平野係長	会長選出されたため、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第1項の規定により会長が議長となる。
議長	就任あいさつ 会議録署名委員に、雨笠正昭委員、石井喜美子委員を指名。 会議次第5議題、(1)平成24年度事業実績について事務局の説明を求める。
岩野課長	平成24年度事業実績(健康づくり課に関する事業)について、資料に沿って説明。
島田課長	平成24年度事業実績(国民健康保険課特定健診に関する事業)について説明
議長	質問を求める。
渡辺委員	3ページで胃がん検診受診者715名の他に人間ドック受診者が409人いるとのことだが、他のがん検診を人間ドックで受診した方を把握していれば教えていただきたい。
岩野課長	把握していない。
渡辺委員	関連して、国民健康保険課資料9ページの欄外米印で集団検診の受診者数に人間ドックの受診者を含むとの記載があるが、同じようのがん検診にも人間ドック受診者を含めてしまっていないのか。
岩野課長	健康づくり課としては、毎年(人間ドックの受診者)数は入れずに出している。
渡辺委員	対象者がいて、実際受けた方が何人いるか掴むのに、人間ドックを受けた人を入れるほうがデータとしてはいいのではないか。
島田課長	国民健康保険課の特定健診の中では、国から人間ドック、事業所の受診率も加えていいとなっている。特定健診の項目が個人情報もあるので、その部分の承諾をいただき人間ドックの資料としている。
議長	数字を後ほどお知らせしたほうがよろしいか。
渡辺委員	それはいい。胃がん検診受診率が4.3%で非常に低い感じがしてしまうので、実際はもっと受けていれば数字が上がってくるのではないか。対象者が国勢調査の数ということで毎年同じ数なので、受診率を出すこと

	<p>があまり意味がないのではないかと思った。</p>
大野委員	<p>渡辺委員の言ったことと同じことを思った。受診率が非常に低い。これでいいのか。本当はもっと受けているのではないか。数字が掴めないので仕方がないと思う。</p>
議長	<p>委員から質問のあった人間ドックの受診者数は把握しているか。</p>
岩野課長	<p>把握していない。</p>
大野委員	<p>(社会保険の加入者は) 対象者に含まれているのか。</p>
岩野課長	<p>入っている。</p>
平野主査	<p>富津市は、(近隣) 4市の中でも低いですが、4市の中でも受診者数には人間ドックや社会保険で実施した方は入れていない。今後受診率の向上に努める。</p>
石井委員 (保健所)	<p>6ページの健康教育の健診結果説明会について、対象者数は何人か。また、8ページの1歳6カ月児健診、3歳児健診は受診率が86.6%と84.6%と他の市町村と比べても若干低いですが、未受診の人について何かフォロー又は関わりをしているか。</p>
加藤主任	<p>健康教育の結果説明会の対象者数は、平成24年度は1,073人。そのうち参加者は879人となる。</p>
圓川総括	<p>1歳6カ月児健診と3歳児健診について、他市と比べると健診の開催回数が少ないため、都合が合わないと受診できないが、次回の健診についての案内はがきを送付している。それでも受けられない場合は受診できない理由を把握している。訪問や保育所の利用を確認している。</p>
石井委員 (学校長)	<p>6ページから7ページの事業について、どのような層の参加者が多いか。例えば、栄養改善事業のわくわく栄養教室や食生活改善事業は一般市民を対象としているが、どのような方が参加しているのか。</p>
平野係長	<p>わくわく栄養教室については、食生活改善推進員の養成教室で、市民から食生活改善推進員になる方を募集し、年10回、延べ130名の参加者があり、活動に向けての内容で実施している。食生活改善事業は、バランスの取れた食事をテーマに、どんな物をどれくらい食べたらいいかを市民の方と一緒に学習していく機会として実施。教室や出前講座として開催している。</p>
議長	<p>説明のあった平成24年度事業実績について承認することに賛成の方の</p>

	挙手を求める。
委員	挙手多数
議長	平成24年度事業は承認された。 続いて、議題(2)の平成25年度事業について事務局の説明を求める。
岩野課長	平成25年度事業(健康づくり課に関する事業)について、資料に沿って説明。
島田課長	平成25年度事業(国民健康保険課特定健診に関する事業)について、資料に沿って説明。
議長	質問を求める。
平野弁一委員	現状(今年度)の特定健診の受診率は。
島田課長	今年度はまだ出ていない。これから8月にも実施する。
平野弁一委員	昨年度の会議の時に、数字の取り方について、検討を加えるという話だったと思うが、より実際に即した数字を取ったらどうかと前会長から話があったと思うが、先ほどの説明では昨年度と同じ数字の取り方だった。改善の余地はあるのか。
岩野課長	がん検診の対象者については、平成20年度より国で国勢調査を元に対象者数を算出することとした。国の指示による対象者数を使用している。
平野弁一委員	対象者数ではなく、受診者数の問題。 人間ドックの数字を含めるなどということで、昨年度問題を提起したと思うが。人間ドックについては、市から補助を出している部分があるため、そういう数字を取り込んでいくべきではないかという話が出たと思うが。
岩野課長	人間ドックについては、数字を把握することは可能であるが、社会保険加入者については、把握することは困難である。
平野弁一委員	対象者数16,000という数字は国保の数字ではないのか。
平野係長	対象者の人数については、今年対象者として挙げた数字は、国勢調査をもとに算出した数字のため、国保加入者と必ずしも一致しない。
平野弁一委員	国保の加入者だけではないのか。

平野主査	全国的に対象者の出し方がまちまちだったところを、統一しようということで、平成24年度の対象者数については、平成17年の国勢調査の人口から就業者数を引いて、農林水産業従事者数を足した数字となっている。国保の加入者のみではない。
平野弁一委員	いずれにしろ、より正確な数字に近い数字を出してもらい、受診率が低いのであれば、(特定健診の)目標が60%というが本来ならば100%やってもらい、(検診結果により)できるだけ早く悪いところは直していただけるよう努力していただきたい。
正司部長	数字の件は、全国で統一した数字を使おうということから、国勢調査の数字を基本とし、対象人口から就業者数を引きます。この就業者数は、農業、漁業に従事する国保加入者も含まれているので、あらかじめその数を引いた人数としてとらえている。また、必ずしもがん検診は社会保険の方は受けられないというものでない。事業所で受ける機会のない方は受けられる。実際に国保の方だけに対して行っているというものでないため、このような数字の取り方をしている。
議長	説明のあった平成25年度事業について承認することに賛成の方に挙手を求める。
委員	(挙手全員)
議長	平成25年度事業は承認された。 議題終了。事務局から協議する事項がないか発言を求める。
平野係長	特にない。
議長	特に協議もないため議事を終了。 平成25年度富津市健康づくり推進協議会を終了する。

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためにここに署名する。

平成25年8月8日

富津市健康づくり推進協議会 会長 高橋 恭市

署名委員 雨笠 正昭

署名委員 石井 喜美子